



Knots NEXT 'One World, One Life'

公益社団法人 Knots ノッツ・結び目
WEBサイト <http://knots.or.jp>
[今号のメッセージ]特定非営利活動法人 兵庫介助犬協会
理事長 北澤光大 さん

手や足が不自由な人の日常生活を手助けする「介助犬」。現在全国で57頭が活躍していますが、障害の種類や程度に合わせてオーダーメイドでトレーニングされているので、それぞれ介助動作の内容は異なります。代表的なものは落とした物を拾う、携帯電話を探してもらつくる、ドアや窓の開閉等があります。

介助犬は「お仕事している犬」と言われることが多いのですが、実際に「ルールのある遊びをしている犬」という表現の方が適切です。犬がボールをくわえたり、あまり知られていない

- ◆ 公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。
- ◆ Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

犬との共生社会の先にあるもの 介助犬と障害がある人が今より活躍しやすい社会へ



ユーザーが信頼できる大好きな飼い主である必要があるからです。

える犬たちなのです。

最近は少しずつ愛犬と一緒に利用できるカフェや

ホテルも増えてきました

2002年に身体障害者補助犬法が施行されたことで、店舗・施設や交通機関等において介助犬同伴の受け入れが義務化されました。

ユーザーが外出する際には常に介助犬を同伴しています。つまり、介助犬たちは留守番を

させられること



ことかもしれません、介助犬のお世話は可能な限り介助犬と暮らしながら介助犬と暮らしている障害がある人||ユーザー||が、犬具やユーチャー||が、犬具や環境を工夫して行なっています。

今よりもっと犬と暮らしありやすくなれば、介助犬やユーザーが活躍しやすい社会にも繋がります。

ユーザーが信頼できる大好きな飼い主であるユーザーの仕事、旅行、買い物等、どこでも連れに行つてもら



Instagram

HYOGO.SERVICEDOG.ASSOCIATION.jp

Twitter



YouTube

